

2017 年度（平成 29 年度）

# 事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日



一般財団法人 主婦会館

## 平成 29 年度 事業報告書 目次

1. 管 理 事 項 .....	1
1.1. 理事会および評議員会の開催	1.4. 活動状況
1.2. 役員および評議員	1.5. 財務状況
1.3. 機構と職員	
2. 調 査 研 究 事 業 .....	2
2.1. 消費者問題に関する調査研究	2.2 奥むめお研究会
3. 啓 発 および 相 談 事 業 .....	3
3.1. 消費者相談室	3.5. 税務相談
3.2. ティーンズカフェ	3.6. 夫婦・親子相談
3.3. ほっとサロン・シングルマザーグループ相談会	3.7. 法律相談
3.4. 住まいの相談室	
4. 各 種 研 究 会 、 講 習 会 、 展 示 会 の 開 催 等 の 事 業 .....	4
4.1. 消費者セミナー2017	4.7. シニアシングلزセミナー
4.2. 上映会(講演会、シンポジウム)	4.8. 消費者問題に関する展示
4.3. 「健康/権利」エデュケーター養成講座	4.9. 奥むめお・主婦連合会に関する展示および資料保存・管理
4.4. こころのケア講座	4.10. 北ドイツ反原発アーカイブ
4.5. ファシリテーター養成研修	4.11. 産直市
4.6. ひとり親サポーター養成講座	
5. 収 益 事 業 ( 貸 会 議 室 ・ 宴 会 ・ ス ペ ー ス エ フ ・ ク リ ニ ッ ク ) .....	6
5.1. 貸会議室・宴会の概況	5.4. 販売促進活動
5.2. 施設・設備の増設および更新等	5.5. スペースエフの運営
5.3. 料理提供に関する見直しと充実	5.6. クリニックの運営

# 1. 管理事項

## 1.1. 理事会および評議員会の開催

《理事会》一般財団法人主婦会館第7回理事会 平成29年6月1日(木)

- 【議案】
- 1.平成28年度事業報告の件
  - 2.平成28年度決算報告の件同監査報告
  - 3.平成29年度事業計画の件
  - 4.平成29年度収支予算の件

《評議員会》一般財団法人主婦会館第5回評議員会 平成29年6月26日(月)

- 【議案】
- 1.平成28年度事業報告の件
  - 2.平成28年度決算報告の件同監査報告
  - 3.平成29年度事業計画の件
  - 4.平成29年度収支予算の件

《理事会》一般財団法人主婦会館第8回理事会 平成29年6月27日(火)

- 【議案】
- 1.理事の代行順位の件

## 1.2. 役員および評議員(五十音順)(平成30年3月31日現在)

### (1)理事7名

- 有田芳子(非常勤) 主婦連合会会長  
 石岡克俊(非常勤) 慶應義塾大学大学院法務研究科教授  
 清水鳩子(常勤) 一般財団法人主婦会館理事長  
 土居敬和(常勤) 一般財団法人主婦会館専務理事  
 永縄恭子(非常勤) 日本女性法律家協会法律相談運営委員会委員長、弁護士  
 本田信介(常勤) 一般財団法人主婦会館営業本部長、フロントサービス部長  
 山本克哉(非常勤) 日本生活協同組合連合会常務理事

### (2)監事2名

- 和田正江 主婦連合会常任幹事  
 糸田省吾 一般社団法人全国公正取引協議会連合会会長代行

### (3)評議員6名

- 今成知美 特定非営利活動法人アスク代表  
 岡田光一郎 東京税理士会相談役 税理士  
 角田禮子 NPO法人関西消費者連合会理事長  
 納米美恵子 特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事  
 樋口恵子 NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長  
 広岡守穂 中央大学法学部教授

## 1.3. 機構と職員(平成30年3月31日現在)

・常勤理事2名、常勤顧問2名、職員22名、パート31名 ※( )内パート等 単位:人

合計 22(31)	男 11(12)、女 11(19)	平均年齢 42.8歳	平均勤続年数 10.3年
公益事業部合計 3(1)	企画	男 0(0)、女 3(1)	
営業本部合計 16(27)	営業部	男 2(0)、女 5(0)	
	フロントサービス部	男 1(2)、女 0(1)	
	ゲストサービス部	男 2(3)、女 0(3)	
	調理部・洗い場 クリニック	男 5(3)、女 1(3)	
総務部合計 3(3)	総務部	男 1(1)、女 2(0)	
	施設管理室	男 0(2)、女 0(0)	

上記人員に加え、延べ1,698人のサービススタッフの応援を得て、業務を推進した。

飲食業界のサービススタッフ確保が困難な中、人員確保に苦慮した1年であった。足りないながらも何とかやりくりしながらサービスしていたが教育や指導について行き届かないところがあった。

#### 1.4. 活動状況

当財団法人の使命を全うするための基礎となる収益確保のため、営業を中軸に据え、機能的組織を再構築した。10月1日付で広報・宣伝チームおよびフロントサービス部を新設した。また、給与制度の見直しとして7月1日から手当等の見直しを含め、基本給を重視した新給与制度に変更した。ハラスメントの対応を1件行った。

#### 1.5. 財務状況

##### 1.5.1. 事業比率

公益事業と収益事業(貸会議室、宴会、スペースエフ、クリニック)の総収入は548,293千円で内訳は公益事業4,248千円(0.8%)、収益事業544,045千円(99.2%)であり、ここ数年この比率に大きな変化は無い。

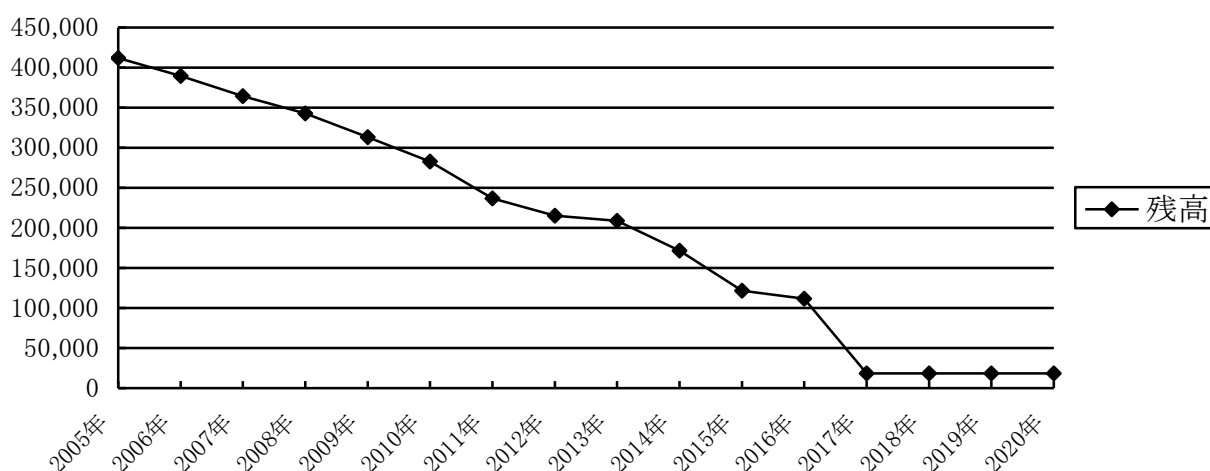
##### 1.5.2. 全体状況

24,194千円の黒字決算であり4年連続の利益計上となった。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常収益	481,542千円	510,376千円	535,077千円	548,293千円
経常費用	478,739千円	496,316千円	515,958千円	524,098千円
経常利益	2,803千円	14,060千円	19,119千円	24,194千円
利益率	0.6%	2.8%	3.6%	4.4%

##### 1.5.3. 証書借入金残高の変遷と予定

未償還残高推移(単位:千円)



※2020年以降の13,500千円の残高は主婦連11,000千円と保留状態の2,500千円がある。

##### 1.5.4. 証書借入金の完済

銀行から低利融資により、1億円を借り入れ、新主婦会館建築資金のうち個人からの借入金返済に充当した。これにより、個人借入金の償還については償還期限が来っていない借入金の一部を残し完済した。

##### 1.5.5. 経費削減の徹底

売り上げの増加に伴い、電気は単価の減額を含んで削減努力を行うものの、使用料、支払い額ともに増加した。水道は使用料、支払い額ともに下がった。ガスについては使用料は下がったが値上げの影響により支払い額は増加した。残業をしないシフト作りを目指し、定時で帰宅できるよう状況を確認するため上司からメンバーへの声掛けを心掛けた。シフトが確定した後でも会議・宴会の終了時間に合わせて出勤時間を調整し、極力残業をしないように注意を促した。

## 2. 調査研究事業

### 2.1 消費者問題に関する調査研究

#### 2.1.1. 単位価格表示(ユニットプライス)に関する調査研究

単位価格表示(ユニットプライス)について、消費者の意識を調査し、今後の国際標準化及びJIS化検討の資料とすることを目的として行った。

調査機関 平成 29 年 9 月 4 日～10 月 31 日  
対 象 主婦連合会会員および一般消費者  
配布数 1,100 部 回収数:1,078 部 (回収率 98.0%)

調査結果から、価格を比較することの重要性を改めて認識することになった。消費者の商品選択の方法の一つとして有効なものであり、さらなる拡充を求めていく。

### 2.2 奥むめお研究会〔実施せず〕

## 3. 啓発および相談事業

### 3.1. 消費者相談室(毎週火曜・木曜日 10:00～16:00)(無料)

消費生活相談員(消費生活アドバイザー)1名が来室(面接)、電話、文書(メール含む)による合計 31 件の相談を受けた。リフォーム工事の契約や、金融・保険サービスに関する相談が多く寄せられた。

内容別件数

	安全・衛生	品質・機能	表示・広告	販売方法	契約・解約	接客・対応	その他	総件数
件数	3	1	2	2	17	1	5	31
構成	9.7%	3.2%	6.5%	6.5%	54.8%	3.2%	16.1%	100.0%

### 3.2. ティーンズカフェ(女の子のためのこころと体の相談室)(予約制 1 回 30 分、無料)

10 代の女の子の体・こころ・性に関する悩みなど多様な心配事を気軽に相談できる無料相談を実施した。相談内容は性・心身・家庭・学校をはじめ社会の動向を反映した深刻な問題が多く、人間関係(いじめ)や母子関係、精神不安などに関する相談が 13 件寄せられた。

### 3.3. ほっとサロン・シングルマザーグループ相談会

#### 3.3.1. シングルマザー定例グループ相談会(無料)

NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむの協力を得て、母子家庭や離婚を考えている女性たちを対象に、参加者同士の情報交換や交流、相互援助を通して、個々の悩みや不安、心配事、疑問などを少しでも解消し、子供とともに安心して生活することができるように支援するため開催した。平成 29 年 4, 6, 7, 9, 11 月、平成 30 年 1, 3 月で実施、計 35 人が参加した。

#### 3.3.2. ほっとサロンクリスマス会

#### 3.3.3. 教育資金準備のためのセミナー「必ず役に立つ教育資金準備セミナー」〔実施せず〕

### 3.4. 住まいの相談室

#### 3.4.1. 建築士に聞く!住まいのなんでも相談会〔実施せず〕

#### 3.4.2. マンション維持管理講座・相談会(平成 29 年 12 月 2 日)

マンション生活と管理組合を支援する取り組みを続ける「マンション維持管理支援専門家ネットワーク」の協力を得て、長期修繕計画書に関する講座と相談会を行い、70 人が参加した。

### 3.5. 税務相談

#### 3.5.1. 定例無料税務相談(毎月第1金曜日 13:00~16:00)

東京税理士会麹町支部との共催で毎月1回税務相談を実施した。不動産、相続、贈与などを主とした所得税および資産税関連が大半を占め、計47名から55件の相談があった。

#### 3.5.2. 確定申告無料相談会

確定申告手続きをサポートするため、確定申告無料相談会を平成30年2月下旬開催、3日間で71名の相談があった。

### 3.6. 夫婦・親子相談(無料セミナー・交流会・個別相談会)(平成30年3月10日)

公益社団法人家庭問題情報センター(FPIC)との共催でセミナー・個別相談会を開催した。セミナーでは、老後の見守り契約、任意後見、法定後見についてこれからの家族の在り方について取り上げ25人が参加、また、希望者11人には個別相談を実施した。

### 3.7. 法律相談

#### 3.7.1. 定例有料法律相談(常設)

日本女性法律家協会との共催。近年は国の司法支援センター(法テラス)の充実や各自治体・団体等の法律相談事業の取り組みの成果もあり、相談件数は62件に止まった。減少傾向にあるが、女性弁護士に対する期待は大きいと考え継続実施した。主な相談として夫婦(離婚・DV)・親子問題、遺言・相続、男女関係などがあった。

#### 3.7.2. 無料法律相談

全国女性税理士連盟東日本支部の協力を得て実施、平成29年4月22日に実施、49人から58件の相談があった。

## 4. 各種研究会、講習会、展示会の開催等の事業

### 4.1. 消費者セミナー2017

消費者問題についての知見を深め、消費者の権利実現のための活動に活かすことを目的として一般消費者を対象として主婦連合会との共催で開催した。現在、古着回収の仕組みは岐路に立っており、新しい仕組みが必要な時期にきている。古着回収の実態を知るため、連続講座「古着回収はどうあるべきか？」を一般消費者を対象に、平成29年10月、11月、平成30年2月の3回開催し、延べ77人の参加があった。

### 4.2. 上映会(講演会、シンポジウム)

世界の食料問題を考える日として国連が制定した「世界食糧デー」の10月16日に合わせて、「0円キッチン」(上演時間81分/2015年製作)上映会を一般の方を対象に、主婦連合会の協力を得て開催し50人の参加があった。

### 4.3. 「健康/権利」エデュケーター養成講座

小、中、高等学校で性の問題を扱う授業に招かれる看護師などがより深い理解に基づいて授業ができるよう、「命の大切さ」、「人権としての性」という概念について学ぶ場を提供した。延べ145人の看護師の参加があった。

### 4.4. こころのケア講座

DVの被害者など、深い傷つきをかかえ心のケアを希望する女性に、DVの構造や心の傷のケアについて学ぶ講座を開催した。NPO 法人レジリエンスのスタッフがファシリテーターを担当。毎月開催し、延べ177人の参加があった。

### 4.5. ファシリテーター養成研修

#### 4.5.1. 「こころのケア講座編」開催

NPO 法人レジリエンスの協力を得てDVの被害者や人間関係等で傷つきを抱えた女性たち向けの「こころのケア講座」を開催することができるファシリテーターを養成する講座を開催した。平成 29 年 12 月、平成 30 年 1 月、3 月の各 2 日、計 6 日で延べ 48 人の参加があった。

#### 4.5.2. 「デートDV 編」開催

中・高・大学での 1 時間の講座を担えるファシリテーターを養成し、首都圏以外の地域でも、広く「デートDV」に関する講座が開催されることを目的とした講座を開催した。平成 30 年 3 月 2 日に実施、31 人の参加があった。

#### 4.5.3. 「ファシリテーター養成研修修了者のためのフォローアップ研修」開催

研修修了後に生じた問題点等を解決し、より良い形での資料の活用を目指すことを目的とした。定員を超える申し込みがあったため、急遽追加開催した。平成 29 年 7 月、11 月の 2 日で延べ 30 人の参加があった。

#### 4.5.4. 「解離に関する対応を学び、支援者がその対応について学ぶための研修」開催

解離の症状について悩む当事者の日常生活における混乱、背景にあるトラウマ等を理解し、当事者が安全に生活する基盤を作っていくための具体的な方法を学ぶ目的で平成 29 年 7 月に実施 30 人の参加があった。

### 4.6. ひとり親サポーター養成講座

ひとり親の方々を一人でも多く救済するため、仕事・生活・離婚前後・子育て・教育・メンタルケア・DV 被害等の総合的支援を行うことができる人材を養成することを目的とした講座を、NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむの協力を得て開催した。平成 29 年 7 月の 2 日間で延べ 83 人の参加があった。また、10 月に開催されたフォローアップ講座には 12 人の参加があった。

### 4.7. シニアシングلزセミナー

2016 年度に行った 50 歳以上のシングルで暮らす女性を対象にしたアンケートの最終報告会をわくわくシニアシングلزとの共催で平成 29 年 5 月に開催、49 人の参加があった。

### 4.8. 消費者問題に関する展示

1Fロビーで一般来館者への啓発・情報提供を目的とした展示(1Fエレベーターホールも)を行った。

- |                            |   |
|----------------------------|---|
| ① 平成 29 年 4 月～6 月          | お米ってそうなっているんだ?!～お米を作るところから食べるころまで、意外と知られていないお米の話～ |
| ② 平成 29 年 6 月～8 月          | 中高年シングル女性の生活状況アンケート調査結果                           |
| ③ 平成 29 年 9 月～10 月         | インターネットの安心安全利用～子どものためにできること～                      |
| ④ 平成 29 年 11 月～平成 30 年 1 月 | 「税の作文・標語・絵はがき」作品展                                 |
| ⑤ 平成 30 年 2 月              | ファッションで子どもを交通事故から守る!「高視認性安全服」                     |

### 4.9. 奥むめお・主婦連合会に関する展示および資料保存・管理

3 階の展示スペースおよび展示室において、一般の方を対象に主婦会館と主婦連合会の創設者である奥むめおおよび主婦連合会の歴史についての展示を継続して行った。

### 4.10. 北ドイツ反原発アーカイブ

ドイツのゴアレーベン・アーカイブから寄贈された反原発ポスター類は、歴史的・文化的資産として貴重な資料であり、「北ドイツ反原発アーカイブ@ブラザエフ」として管理した。

### 4.11. 産直市(全 4 回)

安心で美味しい産地直送の農作物、加工食品等を当館正面玄関前で販売した。「農民連ふるさとネットワーク」と主婦連の会員である「八丈島連合婦人会」また、東日本大震災の被災地支援も含めて今回から「農事組合法人浜通り農産物供給センター」と「NPO 法人野馬土」の協力を得て被災地からの

販売品を多数取り扱った。平成 29 年 6 月、10 月、12 月および平成 30 年 3 月の各 2 日計 8 日間、玄関前で販売した。

## 5. 収益事業(貸会議室・宴会・スペースエフ・クリニック)

### 5.1. 貸会議室・宴会の概況

#### 5.1.1. 収支概況

会議・宴会の売上げ目標 4 億 4,800 万円に対して 4 億 7,418 万円、達成率 105.8%、粗利益 3 億 2,732 万円、前年比 2,021 万円増、前年比率 106.2%で 4 期連続の増収増益で終えることができた。

		平成 29 年度			前年度(平成 28 年度)		
売上	実績	4 億 7,418 万円 (前年比 104.2%)	会議 2 億 1,761 万円	宴会 2 億 5,657 万円	4 億 5,477 万円	会議 2 億 2,004 万円	宴会 2 億 3,473 万円
	達成率	105.8%				104%	
粗利益		3 億 4,753 万円(前年比 106.2)			3 億 2,732 万円		

#### 5.1.2. 会議・宴会売上げ分析

		平成 29 年度	平成 28 年度	前年比(実数)	前年比(率)
会議	売上	2 億 1,761 万円	2 億 2,006 万円	245 万円減	98.8 %
	人数	82,030 人	88,052 人	6,022 人減	93.1 %
	1 人当り単価	2,652 円	2,499 円	153 円増	106.1 %
	件数	2,399 件	2,556 件	157 件減	93.8 %
	1 件当り人数	34.1	34.4	0.3 人減	99.1 %
宴会	売上	2 億 5,657 万円	2 億 3,473 万円	2,184 万増	109.3 %
	人数	41,661 人	39,351 人	2,310 人増	105.8 %
	1 人当り単価	6,158 円	5,965 円	193 円増	103.2 %
	件数	905 件	783 件	122 件増	115.5 %
	1 件当り人数	46.0	53.5	7.5 人減	85.9 %

### 5.2. 施設・設備の増設および更新等

#### 5.2.1. 貸室設備の増設、購入、更新等

①大会場に映像機器およびスクリーンを増設した。②有線マイク分配器を購入し、各会場内で最大 20 本の有線マイクが使用できるようになった。③3 部屋の音響設備を更新した。④小規模会場の壁紙をスクリーンクロスに張り替えた。

#### 5.2.2. 設備の更新等

①全館無線 LAN 設備の構築を完了した。②厨房の冷凍庫の増設、備品の購入を行った。③報告、連絡を密に、速やかにするため、デジタル簡易業務用無線機(通称:インカム)を主要担当者および主要箇所用増台し、お客様対応が素早くできるようになった。

### 5.3. 料理提供に関する見直しと充実

#### 5.3.1. 宴会プランの見直し

飲み放題を組み込んだプランから飲み放題を外し、さらにそのプランのブレイクダウンを見直し、利益率を増やす努力を行った。

#### 5.3.2. 仕出し弁当の取り扱い強化

知名度の高い人形町今半・なだ万等を新たに加え、ホームページ上に写真入りで掲載し利用を勧めたことにより、6,660 個 7,939 千円を売り上げ、対前年 1,360 個増 売上 2,088 千円増 利益 417 千円増を達成した。



## 5.4. 販売促進活動

### 5.4.1. 予約システムの活用

予約業務をデジタル化して、顧客情報の蓄積と共有化を進めた。問い合わせと同時にコンピュータに予定を入力することにより、入金額や入金日が確認しやすく、資金繰り計画がより正確なものとなった。さらに利用が途絶えた顧客の洗い出しが容易となり、個別顧客へのピンポイントの販売促進を可能とした。

### 5.4.2. 重要顧客の早期予約のスケジュール化

予約システムの情報により、年間を通じて反復利用顧客や、大型顧客の過去の予約状況を分析し、予想される予約日を特定し事前に次回予約を打診するなど待ちの姿勢から攻めの姿勢へと転じることができた。既存顧客の予約を早期に確定し、新規顧客を入れ込むようなルームコントロールが可能となり、売上向上に貢献した。

### 5.4.3. 顧客情報を活用した DM による展開

予約システムにより集積した情報を分析し、郵送 18 回(3,244 件)、メール 1 回(443 件)の案内を行った。

### 5.4.4. 広報の充実と展開

①空室状況をホームページに掲載し、約 10 件の予約を獲得した。②月平均 2~3 件のペースでブログを発信した。③チャットを利用した問い合わせ窓口を開設した。会場の問合せやアクセス方法を確認する質問が主であった。④平成 29 年 6 月に会館の総合案内のリーフレットを刷新した。その他リーフレットを作成し DM した。

## 5.5. スペースエフの運営(ランチバイキング、宴会)

### 5.5.1. ランチバイキング

利用人数 24,964 人(前年比 92.6%、約 2,000 人減)、売上 24,288 千円(前年比 93.0%、約 200 万円減)、粗利益 6,245 千円(前年比 93.1%、約 50 万円減)であった。この主な要因は、土日の昼宴会の貸切が続き、ランチの営業日数が減った為、来客に影響が出た。また、食材の高騰による仕入れ都合によるメニューのマンネリ化も影響していると考え、諸対策を講じたが効果を得られなかった。

### 5.5.2. スペースエフ利用の宴会状況

売上は 19,203 千円、粗利益 3,604 千円であった。前年宴会売上(20,861 千円)に比べ 165 万円の減であった。件数と客単価が下がった為、利益に影響が出た。

## 5.6. クリニックの運営

### 5.6.1. 診療件数

一般産婦人科では対応が難しい性同一性障害(性別違和)、性交障害、摂食障害などを中心とした精神心理的要因の強い患者の診療を行っており、平成 29 年度は診療件数で 3,204 例(内保険診療:2,509 例、自費診療:278 例、相談・カウンセリング:417 例)で昨年度に比べ約 270 人の減、前年比 92.3%となった。平成 25 年度から一般産婦人科の診療を取り入れ、外来患者を増やすべく努力したが、医師の退職(平成 29 年 12 月)により、ここ数年の診療件数および新来患者数の増加傾向も頭打ちとなっている。新来患者は平成 29 年度に 233 例あり、内保険診療で 198 例、性同一障害の 70 例などを中心に一般産婦人科での対応の難しい診療を行った。また自費診療は 12 例あった。(重複のため件数は合致しない。)

### 5.6.2. 相談・カウンセリング

新規にカウンセリングを始めたものは平成 29 年度に 23 例あり、4 名のカウンセラーで対応している。診療内容としては性交障害に関するもの、家族関係など人間関係に関するものであり、心理療法・行動療法の他、継続的なカウンセリングを行なっている。

以上